

令和元年度事業報告書
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 会員総会

(1) 令和元年度 定時会員総会

1) 日時 令和元年6月21日(金) 午後1時

2) 場所 KKR ホテル東京「丹頂」の間 東京都千代田区大手町 1-4-1

3) 議事

第1号議案

平成30年度事業報告・貸借対照表・正味財産増減計算書に関する件

第2号議案

令和元年度会費および賛助会費の額ならびに納入方法決定に関する件

第3号議案

定款の一部変更に関する件

第4号議案

任期満了に伴う役員改選に関する件

2 理事会

(1) 令和元年度第1回理事会

1) 書面決議日 令和元年6月3日

2) 議事

第1号議案

平成30年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書及び関連資料の件

第2号議案

令和元年度会費及び賛助会費の額並びに納入方法決定に関する件

第3号議案

定款の一部変更に関する件

第4号議案

任期満了に伴う役員改選に関する件

(2) 令和元年度第2回理事会

1) 日時 令和元年6月21日(金) 11時

2) 場所 KKR ホテル東京「朱鷺」の間 東京都千代田区大手町 1-4-1

3) 議事

第1号議案 令和元年度定時会員総会上程案の説明・審議に関する件
(総会付議議案)

第1号議案

平成 30 年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書及び関連資料の件

第 2 号議案

令和元年度会費および賛助会費の額ならびに納入方法決定に関する件

第 3 号議案

定款の一部変更に関する件

第 4 号議案

任期満了に伴う役員改選に関する件

(3) 令和元年度第 3 回理事会

1) 日時 令和元年 6 月 21 日(金) 午後 1 時 50 分

2) 場所 KKR ホテル東京「丹頂」の間 東京都千代田区大手町 1-4-1

3) 議事

第 1 号議案

役員選任に伴う会長、副会長および専務理事の選定に関する件

(4) 令和元年度第 4 回理事会

1) 書面決議日 令和元年 9 月 17 日(火)

2) 議事

第 1 号議案

欠員役員の選任の件

第 2 号議案

特別会費の臨時徴収の件

(5) 令和元年度第 5 回理事会

1) 書面決議日 令和 2 年 3 月 13 日(金)

2) 議事

第 1 号議案

令和 2 年度事業計画および収支予算の承認の件

第 2 号議案

令和 2 年度定時会員総会および理事会開催日程に関する件
報告事項

令和元年度事業実施概要および事業執行状況報告について

3 監事監査

(1) 日時 令和元年 5 月 20 日(月) 午後 1 時 30 分

(2) 場所 当協会旧事務所(千代田区内神田 2 丁目 5 番 3 号)

4 事業の概況

(1) 一般事業 (継続事業 3)

1) 酪農ヘルパー要員の確保と普及啓発活動

酪農ヘルパー要員の確保を支援するため、当協会ホームページを活用して酪農ヘルパー関連情報の掲載を行うとともに、各地域の利用組合の要請に基づく「求人募集情報」を掲載した。また、(一社)全国酪農協会が発行する全酪新報に「酪農ヘルパー事業中央研究会」のレポート記事や酪農ヘルパー募集に関する広告など、広く酪農ヘルパー事業に関連する広報活動を展開した。

2) 酪農ヘルパー全国協会会長表彰事業

日本教育会館（東京都千代田区一ツ橋）で令和元年12月3日(火)、酪農ヘルパー事業中央研究会(出席者108名)を開催し、ヘルパー技術に優れ事業活動に功績が認められた酪農ヘルパー17名ならびに新規就農された酪農ヘルパー1名に対して、会長表彰を執り行った。

3) 会員団体等との事業連携

会員団体等が主催する研修会や会議等に職員を派遣し、酪農ヘルパー事業に関わる情勢報告や要員確保等に関する意見交換を実施した。

① 7月23日

長野県酪農ヘルパー協議会（農協及び利用組合担当者18名）

② 9月11日

日本酪農政治連盟中央委員会(参加者63名)

③ 11月8日

農林水産省 中央畜産技術研修会(参加者48名)

④ 2月6日

全酪連監事役職員研修会(参加者87名)

4) 酪農ヘルパーの養成活動

酪農ヘルパーに就業されて3年以上の経験を有する酪農ヘルパーを対象とした中級者研修を「北海道農業協同組合学校(JAカレッジ)」で開催(受講者7名)した。また、酪農ヘルパー就職希望者のうち酪農未経験者を対象に、全農長野八ヶ岳牧場の受入協力を得て「酪農体験実習」を実施(1名)した。

5) 傷害時補償制度の推進

臨時ヘルパーの出役中(往復途上含む)の事故傷害に対応するため「臨時酪農ヘルパー傷害保険(普通傷害)」の加入手続きおよび加入促進を図った。

参加 都道府県数	利用組合数	加入 ヘルパー人数	保険料実績 総額(千円)
38	154	669	1,867

6) 傷害保険料の補助(当協会主催に限る)

酪農ヘルパー専門技術養成研修(99名)および酪農体験実習(1名)時の研修生の傷害・損害に対応するため、「国内旅行傷害保険」に加入するとともに保険料(65千円)を全額当協会が負担した。

(2) 酪農経営支援総合対策事業「酪農経営安定化支援ヘルパー事業」

(独立行政法人農畜産業振興機構 公募事業)

(継続事業 1)

酪農ヘルパー要員の確保育成、酪農家の傷病時利用の負担軽減およびヘルパー利用組合の組織強化など、酪農ヘルパー制度を総合的に推進し、持続可能なゆとりある酪農経営に資するため計画的に事業を実施した。

1) 酪農ヘルパー利用実態調査の実施

酪農ヘルパー制度の充実を図るため、令和元年8月1日現在の酪農ヘルパー利用組合の概況および平成30年度の酪農ヘルパー利用実績について調査を実施した。この結果は「酪農ヘルパー利用に関する資料(冊子)」としてまとめ、会員、利用組合ならびに関係機関に配付した。

2) 酪農ヘルパー事業の広報

当協会ホームページでは酪農ヘルパーに関する様々なコンテンツを用意しており、酪農ヘルパーの具体的な仕事内容や就職に至る流れなどを紹介している。また、酪農ヘルパー募集情報および学生インターンシップの受入等の情報発信についても積極的に展開した。また、酪農ヘルパー募集支援活動として、新農業人フェア等(5月東京大手町牧場、11月大阪ハービスホール、1月池袋サンシャインシティ)へ積極的に出展した。

3) 人材コンサルタントを活用したヘルパーの採用・定着の促進

酪農ヘルパー利用組合等が抱えている「酪農ヘルパーの新規採用及び定着化」に関する課題を把握するため、人材コンサルタントを活用して2利用組合を訪問し聞き取り調査を実施した。今後は、課題解決策の提案および具体的取組に関する支援策を構築する。

4) 酪農ヘルパー業務電算システムの研修

当該システムで運用するデータベース(Microsoft-server)のバージョンアップやWindows7のサポート終了に対応するため、運用中の業務システム内容の再確認およびシステム環境移行に伴う手順等について、北海道(52名)・福岡(9名)・東京(20名)・岡山(10名)の4地域6か所で研修会を開催した。また、これらシステム変更に関する手引書を作成し、各酪農ヘルパー事業事務局に配付した。

5) 酪農ヘルパー専門技術員養成研修(初任者研修等)の実施

酪農家の搾乳作業を中心とした代行業務や新規就農に向けた技能蓄積にも対応するため、酪農情勢・搾乳管理技術・コミュニケーション力・牧草の知識・繁殖管理(生理)・哺育育成技術・疾病および防疫・飼養環境・食品衛生・生乳流通など、酪農ヘルパーとして必要な基礎知識や専門技術を習得する「養成研修」を実施した。

※専門技術員養成研修は中級者を含めて10回・99名が受講した。

開催場所	北海道	宮城県	福島県	岡山県	合計
初任者研修Ⅰ (2週間)	<u>2回</u> 25名	<u>1回</u> 4名		<u>1回</u> 6名	<u>4回</u> 35名
初任者研修Ⅱ (1週間)	<u>4回</u> 50名		<u>1回</u> 7名		<u>5回</u> 57名
中級者研修 (1週間)	<u>1回</u> 7名				<u>1回</u> 7名
受講者計	82名	4名	7名	6名	99名

(中級者研修は当協会の事業)

【酪農ヘルパー専門技術員養成研修委託団体】

一財)北海道農業協同組合学校(北海道江別市)

独法)北海道立総合研究機構 畜産試験場(北海道新得町)

独法)北海道立総合研究機構 酪農試験場(北海道中標津町)

ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 訓子府実証農場(北海道訓子府町)

一財)蔵王酪農センター(宮城県蔵王町)

全国酪農業協同組合連合会 酪農技術研究所(福島県矢吹町)

公財)中国四国酪農大学校(岡山県真庭市蒜山)

【体験実習受入団体】

公財)キープ協会高冷地実験農場(山梨県北杜市)

全国農業協同組合連合会長野県本部 八ヶ岳牧場(長野県南佐久郡)

(順不同)

6)優良事例発表会等の開催

酪農ヘルパー事業の充実および優良事例の普及啓発を図るため、令和元年12月3日(火)に「酪農ヘルパー事業中央研究会」を日本教育会館(東京都千代田区)で開催した。

事例発表は「ヘルパー事業におけるスマートフォン等の活用事例(東宗谷農業協同組合酪農生産課長 藪内公二氏)」「ひので酪農ヘルパー資格認定制度への取り組み(ひので酪農業協同組合指導課 安原剛氏)」「離島を含む地域間の連携について(デーリィサポートかごしま専任ヘルパー 揚松利成氏)」「酪農ヘルパーから新規就農へ(北海道別海町 高野謙也氏)」の4氏から報告を頂いた後、大会参加者との意見交換が行われた。当日は、農林水産省・独立行政法人農畜産業振興機構・中央団体・都道府県団体・各地の利用組合・酪農ヘルパーなど108名が参加した。

7)学生インターンシップの実施

酪農ヘルパー業務の認知度向上と酪農ヘルパーへの就業選択肢増加を目的に、都道府県型学生インターンシップの広報活動支援や当協会が主体となる全国型学生インターンシップを実施した。都道府県型として5道県(北海道、岩手県、栃木

県、兵庫県、熊本県)の実施要領等を当協会ホームページに掲載するとともに農業
 大学校等に広報ポスターを配布した。全国型は、畜産系大学1~3年生を対象に独
 立行政法人家畜改良センター岩手牧場の協力を得て8月に実施(参加学生4名)し
 た。

(3) 酪農ヘルパー業務適正化効率化事業 (平成30年度~令和元年度事業)

(日本中央競馬会 畜産振興事業 公募事業) (継続事業2)

酪農ヘルパーの働きやすさや定着化向上のため、酪農ヘルパー及び利用酪農
 家から牛舎内作業手順事例を収集、利用酪農家別に酪農家台帳等を整備している
 利用組合の訪問調査を実施した。作業手順事例や現地調査についてヘルパー業務
 検討部会で協議し、その結果を提案書及び報告書としてまとめ3月に配付した。

(令和元年度の取組実績)

項目	実施地域	調査団体(参加者)	実施 時期
事業推進委員会	東京都	事業推進委員	5月 3月
ヘルパー業務検 討部会	東京都	事業検討部会委員	7月 2月
事例調査	北海道	南十勝酪農ヘルパー有限責任事業組合	9月
	北海道	佐呂間町酪農ヘルパー利用組合	9月
	岡山県	おかやま酪農業協同組合	10月
	鳥取県	鳥取県酪農ヘルパー事業組合	10月
	山形県	山形県酪農業協同組合	11月
	茨城県	けんせい酪農業協同組合	11月

5 会員の動向 (令和元年度)

区分	会員			賛助会員
	中央団体	都道府県団体	合計	
期首	13	44	57	12
期末	13	44	57	12
増減	0	0	0	0

6 職員の動向 (令和元年度)

区分	職員(受入出向含む)	臨時職員	合計
期首	5	1	6
期末	5	0	5
増減	0	△1	△1

(末日付けの退職者は本年度減少に含む)